　～ものづくり技術人材リスキリング研修～

 　電磁波影響・誤動作 評価解析技術

 **EMI測定の基礎**

主催：大分県産業科学技術センター

1. 概　要： ①（座学）

1. 測定機器の基礎

　スペアナ、レシーバーの原理や使用するうえでのキーワードをご紹介します。

　アンテナやLISN、ISN等のトラスデューサの役割や用途についてご紹介します。

2. 測定方法、測定配置

　放射エミッション、伝導エミッション、雑音電力測定の概要と、典型的なセッ

　トアップ方法についてご紹介します。

3. 測定時の注意事項

　プリアンプの飽和による影響と確認、対策方法についてご紹介します。

　上記に関連して、測定感度による測定結果への影響についてご紹介します。

　間欠(レベルが不安定な)ノイズを測定する際の注意点についてご紹介します。

4．技術動向のご紹介

　Time Domain Scan(FFTを用いた測定手法)についてご紹介します。

 　（実習）共通EUTにて、放射・伝導エミッション測定の実習をおこないます。

 　　EUTの配置、ソフトウェアの操作、測定機器の操作などを実習します。

 ②（実習）各社持ち込みEUTにて、放射・伝導エミッション測定の実習をおこないます。 　　実習内容はご希望によりアレンジ可です。

2. 日　時： ① 令和５年１２月５日（火）：９時３０分～１６時

 ② 令和５年１２月６日（水）：９時３０分～１６時３０分

 　※②は個社別の対応のため、開始・終了時間は企業ごとに異なります

3. 会　場： 大分県産業科学技術センター　第一研修室（大分市高江西1-4361-10）

 実習はDs-Labo電波暗室でおこないます

4. 講　師： （座学）株式会社東陽テクニカ　谷口 文彬 氏

 （実習）株式会社東陽テクニカ　谷口 文彬 氏、大分県産業科学技術センター 職員

5. 定　員： ①１５名（先着順） 　②は定員に達したので受付を終了します

 ~~②３社（先着順）※②はお申込み後に内容と時間の調整をさせていただきます~~

6. 受講料： ５，０００円（①のみ、①と②両方受講でも金額は同じです）

 ※受講料は当日会場にて現金でお支払いください。お釣りのいらないようにお願いします。

7. 申　込： ~~１１月２１日（火）~~までに、QRコードおよびURL経由、メール、FAXのいずれかでお申し込み下さい。 ①のみ１１月３０日（木）まで締切を延長しました

8. 問合先： 大分県産業科学技術センター 電子・情報担当　首藤

 TEL：097-596-7101、FAX：097-596-7110、E-mail：t-shuto@oita-ri.jp

　※当日は、セミナーの様子を写真撮影して広報等に使用することがあります。

 **申　込　書**

QRコードはこちら→

※ URLは、https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/emc2023-02

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※ 電子メールの場合は、件名を「EMI測定の基礎 受講申込」としてください。

※ 受付完了後、こちらから電子メール等にてご連絡をいたします。

申込先： 産業科学技術センター 電子・情報担当 首藤行（FAX：097-596-7110、E-mail：t-shuto@oita-ri.jp）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貴社名 |  | 所在地 |  |
| 氏名所属・役職TELE-mail | 　E-mail： | * ①１２月５日（座学と実習）
* ~~②１２月６日（実習）~~

~~□ 午前　□ 午後(前半) □ 午後(後半)~~ |
| ※ 当センターからの情報を電子メールでお知らせして良いですか？（OIRIメール便への登録）　　はい ・ いいえ ・ 登録済み |